



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月10日

上場会社名 株式会社鴨川グランドホテル 上場取引所 東
 コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)四野宮 章 (TEL)04(7094)5581
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	3,138	9.8	263	206.0	223	522.3	196	1.5
27年3月期第3四半期	2,858	0.1	86	△16.3	35	△21.2	193	67.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	22.00	—
27年3月期第3四半期	18.58	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	6,665	1,032	15.5	48.41
27年3月期	6,489	837	12.9	26.58

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,032百万円 27年3月期 837百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,950	6.5	150	273.4	100	—	70	105.4	7.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	10,453,920株	27年3月期	10,453,920株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,511,612株	27年3月期	1,511,412株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	8,942,398株	27年3月期3Q	10,434,923株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、円安を背景とした企業業績の回復や雇用情勢の改善等もみられ緩やかな回復基調が続きました。

しかしながら、原油の大幅下落と中国をはじめとする新興国や資源国等の経済減速による景気の下振れリスクが懸念され、先行き不透明な状況となっております。

リゾートホテル業界におきましては、海外旅行は円安に加えテロによる影響もあり低水準で推移、一方、国内旅行は海外旅行需要の一部が国内に向かう等堅調に推移いたしました。

そのような状況の中で当社は、販売力の強化並びに収益力の回復を主要課題として取り組み、風呂の拡充効果等による鴨川グランドホテルの業績改善に加え、ホテル西長門リゾートやビジネスホテル等も好調に推移いたしました。

その結果、営業収益は3,138百万円と前年同四半期と比べ279百万円(9.8%)の増収となり、営業利益263百万円(前年同四半期比206.0%増)、経常利益223百万円(前年同四半期比522.3%増)、四半期純利益196百万円(前年同四半期比1.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ175百万円増加し、6,665百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ267百万円増加し、1,444百万円となりました。これは主に、未収入金が76百万円減少したものの、現金及び預金が326百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ91百万円減少し、5,220百万円となりました。これは主に、建物が144百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ23百万円減少し、4,903百万円となりました。これは主に、買掛金が59百万円増加したものの、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が83百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ3百万円増加し、729百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ195百万円増加し、1,032百万円となりました。これは主に、四半期純利益196百万円の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、第3四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、平成27年11月6日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	818,786	1,145,225
売掛金	177,253	159,618
たな卸資産	46,166	67,220
未収入金	80,854	4,307
その他	57,589	70,492
貸倒引当金	△2,940	△1,885
流動資産合計	1,177,708	1,444,979
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,121,835	12,116,997
減価償却累計額	△8,478,911	△8,618,319
建物(純額)	3,642,923	3,498,677
構築物	513,208	513,958
減価償却累計額	△462,855	△465,126
構築物(純額)	50,353	48,832
機械及び装置	227,796	240,296
減価償却累計額	△186,110	△188,799
機械及び装置(純額)	41,685	51,496
車両運搬具	27,182	23,532
減価償却累計額	△25,281	△22,125
車両運搬具(純額)	1,900	1,406
工具、器具及び備品	836,579	835,104
減価償却累計額	△744,603	△739,989
工具、器具及び備品(純額)	91,976	95,115
土地	1,076,231	1,074,483
リース資産	91,586	108,237
減価償却累計額	△62,724	△69,299
リース資産(純額)	28,861	38,938
建設仮勘定	-	18,050
有形固定資産合計	4,933,932	4,827,001
無形固定資産		
投資その他の資産	45,742	49,470
投資有価証券	137,015	135,693
差入保証金	169,700	169,860
保険積立金	718	718
その他	40,374	53,125
貸倒引当金	△15,199	△15,199
投資その他の資産合計	332,609	344,198
固定資産合計	5,312,284	5,220,670
資産合計	6,489,992	6,665,649

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,779	144,046
短期借入金	3,841,450	3,786,143
1年内返済予定の長期借入金	527,782	499,923
未払金	42,794	27,448
未払費用	223,913	234,988
未払法人税等	14,678	26,302
未払消費税等	36,283	62,067
賞与引当金	29,800	21,859
その他	124,752	100,282
流動負債合計	4,926,233	4,903,062
固定負債		
繰延税金負債	18,253	17,537
退職給付引当金	137,620	138,672
役員退職慰労引当金	17,791	17,791
長期預り保証金	514,362	507,722
その他	38,043	48,007
固定負債合計	726,070	729,730
負債合計	5,652,303	5,632,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△321,936	△125,180
自己株式	△4,335	△4,410
株主資本合計	799,077	995,758
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,610	37,097
評価・換算差額等合計	38,610	37,097
純資産合計	837,688	1,032,856
負債純資産合計	6,489,992	6,665,649

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業収益	2,858,921	3,138,308
営業費用	2,772,823	2,874,825
営業利益	86,097	263,482
営業外収益		
受取保険金	4,162	11,568
助成金収入	37	2,860
その他	14,732	11,751
営業外収益合計	18,932	26,179
営業外費用		
支払利息	68,953	65,593
その他	218	928
営業外費用合計	69,171	66,521
経常利益	35,858	223,139
特別利益		
受取補償金	100,943	10,130
受取配当金	113,652	-
特別利益合計	214,595	10,130
特別損失		
固定資産売却損	94	-
固定資産除却損	39,020	4,002
特別損失合計	39,115	4,002
税引前四半期純利益	211,338	229,267
法人税、住民税及び事業税	17,498	32,511
法人税等合計	17,498	32,511
四半期純利益	193,840	196,756

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	2,310,704	451,636	2,762,341	96,580	2,858,921	—	2,858,921
セグメント利益又は損失(△)	115,668	30,339	146,008	△14,144	131,863	△45,765	86,097

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△45,765千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	2,556,402	486,525	3,042,927	95,380	3,138,308	—	3,138,308
セグメント利益又は損失(△)	267,743	50,451	318,195	△7,101	311,094	△47,612	263,482

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△47,612千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

第1四半期会計期間より、従来「リゾート関連」に含まれていた「アジュールーノ宮」について事業用資産から売却目的の不動産への切替に伴い、「その他」に変更しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法より作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。